

# オビゴロク

織田廣喜さんの一生を楽しく  
 学べるすごろくが登場！  
 サイコロを振って **ゴール**を  
 目指しましょう！

## スタート！

1 1914年4月19日

織田廣喜が千手村（嘉麻市千手）にて誕生する。

2 碓井に引越す。炭鉱や川原、野山で遊んだりスケッチをして過ごす。

3 絵の勉強のため、家族を説得し東京に行く。

4 日本美術学校に入学！  
 アルバイトしながら絵の勉強に励む。

1 マス進む



5 上京していた時もよくふるさとの絵を描く。

6 二科展に出品し続けるが、3年連続で落選する…

※二科展とは  
 1914年から今も続いている「二科会」の展覧会。

1 回休み

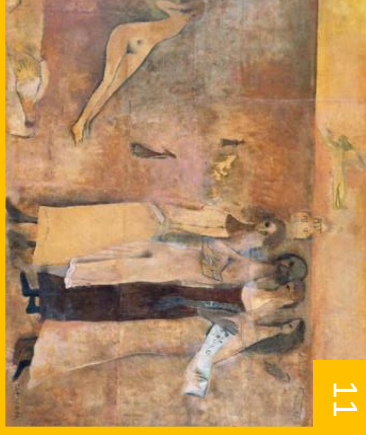
7 第27回二科展で念願の初入選を果たす！

8 第二次世界大戦の影響で絵をかくことが難しくなったため一時的に休筆する。



9 終戦後に再開された二科展で二科賞を受賞！

2 マス進む



10 二科展に参加していたリラ（織田のお嫁さん）と初めて会い、親しくなる。

11 リラに手伝ってもらって古いキヤノンバスを買い合わせて500号の大きな作品「讃歌」を製作する。

12 リラと結婚！

13 織田家に長男・廣比古が誕生！

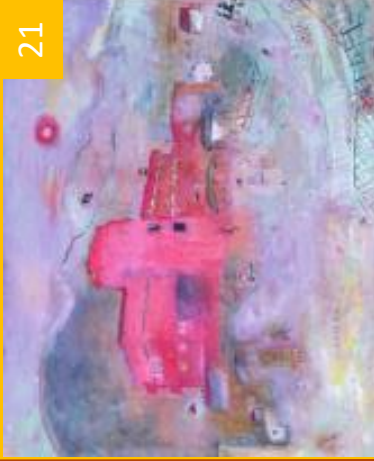
14 初めてフランスへ渡る。パリに部屋を借り、毎日街中や女性を描き続けることで独自の作風を確立していく。この時はひとりで行ったが、以後は家族で何度もパリを訪れる。

15 ドイツ製映画「バラライカは鬼が笑う」に出演する。

2 マス進む

16 帰国する。

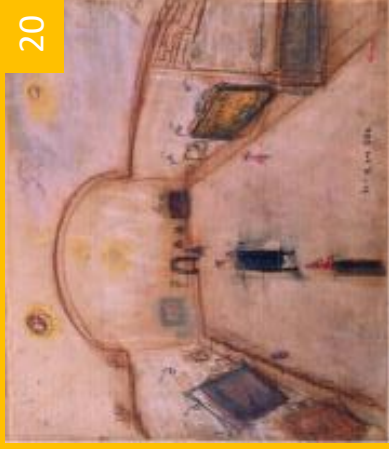
17 織田家に次男・キジ男誕生！



18 織田廣喜美術館が立つことが決まった！

19 織田に美術館の想像図をスケッチしてもらおう。

20 織田廣喜美術館が10周年を迎える！



21 織田廣喜美術館が10周年を迎える！

22 リラのそばで絵の制作を介護をしながらするようになる。

23 クモ腹下出血で倒れる。

24 リラが1回休み



25 リラが亡くなった後、自宅のアトリエにいるリラの絵を描く。

26 織田廣喜美術館が10周年を迎える！



27 幼少期に過ごしたボタ山の風景を描く。この他にも、今では見ることのできない故郷の懐かしい風景を複数製作している。

28 織田廣喜美術館が10周年を迎える！



29 高齢になっても二科展への出展を行うなど、精力的に制作をおこなう。

30 2012年5月30日

31 織田廣喜が98歳で永眠する。

## ゴール！

32 織田廣喜美術館が10周年を迎える！



33 開館1周年を記念して、開館初日の様子を描いた絵を製作する。

34 長年連れ添ったリラが永眠する。

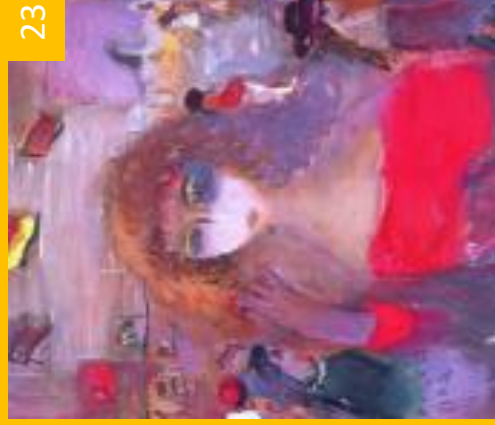
1 回休み

27

28 1996年5月3日

織田廣喜美術館  
 開館！

1 マス進む



29 織田が織田廣喜美術館に多くの絵を寄贈！  
 現在、地元の人々の協力もあって、美術館に織田作品が300点以上収蔵されている。

24

30 織田廣喜美術館が10周年を迎える！

25

31